



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第2巻第
3号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第2巻第3号). 泌尿器科紀要 1956, 2(3): 179-179

ISSUE DATE:

1956-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111113>

RIGHT:

編 集 後 記

京大泌尿器科助教授加藤篤二博士は広島大学柳原英教授停年退官のあとを継いで就任せられる事となった。

◇

本誌も本号より欧文抄録が附く。原稿中の図表はなるべく欧文で書いて頂ければ好都合である。既刊論文の欧文は追って掲載する予定である。

◇

近畿集談会は阪大主催にて下記の如く行われる。期日は6月3日、所は阪大病院、演題締切は4月20日。

◇

関東及び関西不妊研究会が合同して日本不妊学会が成立した。会長は安藤雲一博士である。今後は全国的規模になる筈である。

◇

新制大学教養部2年を終えて医学専門課程へ入らんとする試験に於てドイツ語の成績不良なる者が甚だ多い。之は昔の高等学校と今の教養部とに於けるドイツ語授業時間数を比較してみるならばそれは当然である事が判る。医学を修めるのに此の程度のドイツ語の学力で充分だと云うならば致し方ないが、之れでは困ると云う事になれば重大問題である。学制を再検討する必要がある。この様な実情を当路者の内で誰が本当に知つて居るであろうか。之に関連して考えるべき事柄が此の他にも多くある。

購 読 要 項

1. 発行は隔月（年6回）とする。
2. 会員は年間料金600円を前納する。1冊料金100円、払込みは 振替口座番号京都 **4772** 番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は本会々員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。
4. 文献の書式は次の如くする。
著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例. 中 野：泌尿紀要、1：110、昭30。
Lazarus, J.A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用うること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院京都大学病院泌尿器科紀要編集部。